

# 建築物概要書

(書式-2) (HPより最新版をダウンロードして使用のこと) 2019.11.30改訂

□ 部分は記入、□ 部分は選択をしてください。記入後着色を消してください。

A4印刷の余白設定⇒

件名	○○○○○○○○○○○○新築工事			
建築場所	○○県○○市○○*丁目**-*			
建物用途	事務所/店舗			
地域指定	<input type="checkbox"/> 防火	<input type="checkbox"/> 準防火	<input type="checkbox"/> 無指定 (どれか一つの口を■にしてください。)	
面積	敷地面積	59,000.00 m <sup>2</sup>	建築面積	1,850.00 m <sup>2</sup>
	延床面積	28,500.00 m <sup>2</sup>	基準階面積 (5階)	2,980.00 m <sup>2</sup>
階数	地下: 1階、	地上: 12階、	搭屋: 1階	
高さ・スパン	軒高	44.50 m	建築物高さ	44.50 m
	最高部高さ	51.00 m	基準階階高 (5階)	3.60 m
	1階階高	4.50 m	標準スパン X: 9.60 m Y: 9.60 m	
	建築物の幅高さ比 (建築物の高さ/幅)	長辺方向: 0.61 = ( 44.50 / 72.50 ) 短辺方向: 1.55 = ( 44.50 / 28.80 )		
主 体 構 造	地業形式	杭基礎		
	基礎構造	独立基礎		
	構造形式/構造種別 (地上階)	X方向:	ラーメン構造	S造(柱CFT)
		Y方向:	ラーメン構造	S造(柱CFT)
	構造設計上の特色	中間免震構造を採用し、地下階について、基礎躯体～免震ピットはRC造、免震上部躯体～1階床はSRC造、地上階はS造となっている。エントランスホール廻りが1、2階吹抜け部で大梁の無い長柱となっている。		
	柱・大梁 断面形状 及び 材料	鋼管柱:	□-750×750×22~36(BCP325B; CFT柱) □-350×350×22(BCR295; 鉄骨柱)	
		鉄骨大梁:	BH-700~1200×350~500×14~22×22~40(SN490B) BH-700~1200×350~500×14~22×22~40(SN490B)	
	耐力壁・その他	コンクリート:		
		充填コンクリート:	Fc	42、60
		被覆コンクリート:	Fc	36
鉄筋:	D10~D16(SD295A)、D19~D25(SD345)、D29~D25(SD390)			
柱継手:	現場溶接	その他の場合、この文を消して具体的に記入してください		
柱・梁 接合部の形式	柱・梁接合形式:	(使用している形式の前の口を■にしてください) <input checked="" type="checkbox"/> ブラケット方式 <input type="checkbox"/> ノンブラケット方式		
	柱・梁 仕口部	フランジ	工場溶接	
		ウェブ	工場溶接	
	大梁 継手部	フランジ	高力ボルト接合	(選択してください)
ウェブ		高力ボルト接合	(選択してください)	
床形式	フラットデッキスラブ			
非耐力壁	外壁	押出成形セメント板壁	内壁	軽量鉄骨間仕切り壁
耐火被覆	吹付ロックウール (その他を選択した場合、この文を消して具体的に記入してください)			
無耐火被覆CFT造柱の有無	(選択してください)	耐火性能評価(ルートC)		
施工計画上の特色	CFT造コンクリート充填 落とし込み充填工法: 1FL-1,730~1FL+650 (Fc60; 1FL+1,000の高さに設けている柱継手部から2工区に分けて充填) 圧入工法(1回目): 1FL+650~6FL+1,100 (Fc60; 3工区に分けて充填) 圧入工法(2回目): 6FL+1,100~RFL (Fc42; 3工区に分けて充填)			

← (件名): 件名を記入

← (建築場所): 所在地の住所を記入

← (建物用途): 主な用途を記入

← (地域指定): どれか一つを選択のこと

← (面積): 各面積は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (階数): 階数を、着色部にそれぞれ整数で記入のこと(書式を指定済み)

← (高さ・スパン):  
軒高、建築物高さ、最後部高さはGLからの高さを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)  
基準階階高は、着色部に代表的な階を記入し、数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)、  
1階階高は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)  
標準スパンは各方向の代表的なスパンを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (建築物の幅高さ比): 1階の建物の各方向の幅を、着色部に数値で小数点以下1位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (地業形式): 着色部のメニューから選択のこと

← (基礎構造): 着色部のメニューから選択のこと

← (構造形式): 各方向毎に着色部のメニューから選択のこと

← (構造種別): 各方向毎に着色部のメニューから選択のこと

← (構造設計上の特色):  
構造設計上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください

← (鋼管柱):  
外形断面の大きさが3種類以下の場合は、□-800×800×22~32(BCP325)のように3段(上の段を使用)に記入してください  
外形断面の大きさが4種類以上の場合は、主な2種類を上記のように、残りを□-800×700×800~700×22~32(BCP325)のように記入してください

← (鉄骨大梁):  
外形断面の大きさが2種類以下の場合は、BH-1000×300×9~16×19~32(SN490)のように2段に記入してください  
外形断面の大きさが3種類以上の場合は、BH-900×200×9~19~BH-1000×400×16~32(SN400、SN490)のように記入してください

← (CFT充填コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合は上の段に記入のこと)

← (CFT被覆コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合は上の段に記入のこと)

← (躯体コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合は上の段に記入のこと)

← (鉄筋): 鉄筋径別にD10~16(SD295A)、D19~25(SD345)、D29~32(SD390)のように記入してください

← (耐力壁その他): 主な耐震要素を着色部のメニューから選択のこと(複数ある場合は主なものを選択のこと)

← (柱継手): 着色部のメニューから選択のこと

← (柱・梁接合形式): 着色部のメニューから選択のこと(両方選択可)

← (柱・梁仕口部): 各形式毎にフランジ・ウェブそれぞれのデフォルト値を入力

← (大梁継手部): フランジについて、ブラケット方式の場合は着色部のメニューから選択のこと、ノンブラケット方式の場合はデフォルト値を入力済み

← (大梁継手部): ウェブについて、着色部のメニューから選択のこと

← (床形式): 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)

← (非耐力壁): 外壁及び内壁それぞれについて、着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)

← (耐火被覆): 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと); その他を選択した場合は具体的に記入のこと

← (無耐火被覆CFT造柱の有無): 着色部のメニューから選択のこと、「有」の場合ルート等を着色部のメニューから選択のこと

← (施工計画上の特色):  
施工計画上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください  
(圧入か落とし込み充填か?; 高さ方向のFcの割り付け; 斜め柱、長方形断面柱等、その他CFT柱に関する特殊な事項等)

